

【お知らせ】

教員データベースは3月15日（火）にバージョンアップを行いました。

主な変更点について以下のとおりお知らせしますので、ご確認ください。

1. ReaD&Researchmap から researchmap へ名称が変更されたことに伴い、教員データベース内の表記が以下のとおり変更されました。

（旧表記） R&R → （新表記） rmap

2. researchmap 提出ファイルの入力項目の追加に伴い、以下表1のとおり、新規で項目が追加されました。

なお、「著書・論文_掲載区分」および「社会における活動_種別」については入力必須の項目となりますが、それ以外の項目については任意の入力項目となります。

「著書・論文」「社会における活動」の項目において、すでに入力しているデータがある場合、「著書・論文_掲載区分」、「社会における活動_種別」の入力必須項目は、選択肢のうち「不明」が選択された状態で項目追加が実施されています。

表 1

追加された入力項目	
・社会における活動_役割	・著書・論文_掲載区分 ※
・社会における活動_主催者・発行元	・著書・論文_ページ数
・社会における活動_主催者・発行元(訳)	・著書・論文_arXiv ID
・社会における活動_イベント・番組・新聞雑誌名	・著書・論文_Put Code (ORCID)
・社会における活動_イベント・番組・新聞雑誌名(訳)	・著書・論文_DBLP ID
・社会における活動_場所・掲載箇所	・著書・論文_OpenDepo ID
・社会における活動_場所・掲載箇所(訳)	・著書・論文_ASIN
・社会における活動_種別 ※	・researchmap その他_タイトル
・社会における活動_対象	・researchmap その他_タイトル(訳)
・社会における活動_概要	・研究課題・共同研究・科研費_連携研究者名
・社会における活動_概要(訳)	・学会発表_WekoID (OpenDepo)
・社会における活動_researchmap 用 URL	・学会発表_NAID (CiNi i)
・社会における活動_公開フラグ	

3. <researchmap への情報提供について「提供可」としている方が対象のお知らせです>

researchmap への学位の公開フラグの設定が以下のとおり変更されました。

旧バージョンでは入力された取得学位の単位で公開フラグの設定を行う仕様でしたが、バージョンアップ後の公開フラグは「情報提供可否」の画面にて一括設定を行う仕様となります。そのため、旧バージョンで取得学位の画面にて設定していた公開フラグの設定を、「情報提供可否」での公開設定に引き継いだ形で公開フラグの設定をおこなっています。

なお、バージョンアップ以前に、複数のレコードでそれぞれ異なる公開フラグの設定をしていた方については、対象レコードの公開フラグ設定のうち、公開範囲が最も低い公開フラグで設定をしています。

<参考>

公開範囲高 公開可>researchmap 提供可(研究者間公開)>researchmap 提供可(非公開)>非公開

※「学位」は本学ホームページ上では、公開必須の項目となっており、バージョンアップ後も公開選択に関わらず、本学ホームページ上では公開となりますので、ご了承ください。

◆ バージョンアップ前（公開フラグあり）

◆ バージョンアップ後（公開フラグ削除）

◆ バージョンアップ後の取得学位の公開設定（情報提供可否の画面から設定します）

公開可
researchmap提供可(研究者間公開)
researchmap提供可(非公開)
非公開

以上